



天津神川

**流域治水に向け総合施策を
答 職員も勉強し取組む**

西畑 利彦 議員
(共産党)

○ 災害が頻発し、命と財産が失われている。被災地の教訓を学び生かすべき。流域治水推進に向け、「氾濫防止対策・雨水貯留浸透対策・建築物の制限・浸水に備えるための対策」を網羅した条例を(建設部長) 府条例による指導がある。

○ 府の河川整備率は36%と全国ワースト6位だ。30年後でも47%、天津神川は放置されている。総合施策を作り国にも働きかけるべき。

(市長) 指摘された課題に職員も勉強しながら取組む。

○ 大規模事業でなく地域経済が活性化できる効果のある歩道整備や公共バス事業の推進を、また、補助金への地域活用規制を講じるべき。

(建設部長) つまびやかな目的



教科書を入れたリュック、水筒を身につけ、体重計に乗る小学生

**消費税10%増税の中止を
答 着実に進むことを期待**

岡本 亮一 議員
(共産党)

○ 国は2019年10月より消費税率を10%に引き上げると明言した。消費税増税により市民の暮らしや中小企業の営業に与える影響は大きいと考ええるが。

(副市長) 影響が出ないという()はあり得ない。現に、前回の引き上げのときも確かに消費支出は減った。

○ 消費税10%中止の意見表明をすべき。

(市長) 「社会保障と税の一体改革」が着実に進むことを期待している。

○ 国は複数税率制度の導入に伴い、インボイス制度を導入するとしているが、免税事業者がインボイスを発行できずに取引から排除される恐れがあるが、その影響は。

(経済環境部長) 今後、情報

があり大規模事業と生活に密着した事業の両方が必要。

(総務部長) 補助事業の契約者を市内に限定は難しい。

○ 「動物の愛護及び管理に関する法律」が施行され、飼い主は、動物の命を終えるまで飼養する責任が明記された。保健所は引取りしない。放置された猫が繁殖し、その対策を講じるべき。他市では去勢・避妊手術補助施策で効果を上げている。

(経済環境部長) 近隣市町の取り組みなど、情報収集を行っている。地域での取り組みがあれば考えたい。

○ 市役所利用車両の安全確保に向け307号の区画線見直しを。

(建設部長) 田辺署に駐車取締りの強化を要請していく。

収集に努め、国の動向について注視をしたい。

○ 小中学校の持ち物(リュック・カバン)の重さおよび、子どもの体にも与える影響について、市の認識は。

(教育部長) 近年は、教科書や資料集のサイズが大きくなり、ページ数が増えていることから、子ども達の通学時の荷物が増えている。

○ 平成30年9月、文科省が通学時の持ち物負担の軽減に配慮するよう全国の教育委員会に通知が出したが、各小中学校での対応は。

(教育部長) 児童・生徒の健康面や通学時の安全面を考え、各校の状況に応じて配慮を行うよう校長会を通じて指導した。今後も、負担軽減に向けた取り組みを進める。

種別第4号(第6条関係)

京田辺市予防接種費助成申請書(受領委任私用)

京田辺市長 様
京田辺市予防接種費助成申請書に基づく予防接種費の助成を申請します。

年 月 日

氏名	
住所	京田辺市
電話番号	
生年月日	明 大 正 昭 和 年 月 日
予防接種名	高齢者用肺炎球菌ワクチン
医療機関	京田辺市内の指定医療機関

※再接種は5年以上の隔隔が必要です。

委任状
予防接種をした上記医療機関へ、予防接種費助成金の代理受領を委任します。

申請者氏名 _____ 印

予防接種費助成申請書はがき

**肺炎球菌ワクチン助成継続
答 継続実施する方向で検討**

河田 美穂 議員
(公明党)

○ 高齢者の肺炎球菌ワクチンの市独自助成を継続すべき。

(健康福祉部長) 引き続き助成事業を継続して実施する方向で検討している。

○ 肺がん、胃がん検診の個別検診導入、オプアウト方式の申し込み方法導入など検診率向上のための施策を。

(健康福祉部長) 個別検診導入は実施環境が整った段階で検討。オプアウト方式を含め、受診率向上について引き続き研究していく。

○ シェイクアウト訓練をさまざまな場面で実施を。

(危機管理監) まずは避難所運営訓練での実施を考へる。

○ 災害時の情報伝達を充実すべき。

(危機管理監) 住民の皆さん



田辺中央北側地区

**計画予定地の治水対策は
答 府と国に要望している**

櫻井 立志 議員
(公明党)

○ 田辺中央北側のコンパクトシティ整備計画の基本構想策定の考え方は。

(市長) 府南部のランドマークとなるデザインとICT技術の活用による情報発信機能の備え、多様な芸術文化活動を発信できるホールに加え、生涯学習、図書館および行政サービスの機能を集約した複合型施設を目指し進めている。

○ コンパクトシティ計画を進めるには、松井山手と新市街地を結ぶ市道新田辺線(直角道路)の道路改良と都市計画道路大住草内線の早期事業化が必要と考へるが。

(建設部長) 新名神高速道路の全線開通など、交通需要の変化に注視しながら、事業化に向けた取り組みを進める。

○ コンパクトシティの予

に確実に情報が届くよう工夫していく。

○ 避難所となる学校の体育館にエアコン設置を早急に進めるべき。

(市長) 国の補助金等についてもしっかりと要請しながら、一日も早く設置できるように頑張っていく。

○ 公共施設・小中学校などのトイレの洋式化と便座の改善をすべき。

(教育部長) 学校のトイレは現場からの声も十分聞き、長寿命化等改修事業にあわせて検討し、公共施設は今後も施設改修にあわせて検討課題としていく。

○ お悔やみコーナーなど手続を一括する窓口開設を。

(市民部長) サービスの改善に努める。

定地の治水対策は。

(建設部長) 新浜樺門の整備や防賀川の改修、田辺排水機場の全面改修が必要。国や府に要望活動を行っている。

○ 災害時の指定避難所におけるマンパワーの確保は。

(健康福祉部長) 医療職については、救急医師会との協定により確保。介護職等については、今後、関係機関と協議を行い確保に努める。

○ 胃がん検診事業について、本市では集団検診として胃X線検査を実施している。胃がん発見と予防において効果のある対策型検診としての胃内視鏡検査の実施と受診費用の助成を行ってはどうか。

(健康福祉部長) 種々の課題があり難しいが、今後、府の成り行きを見守っていく。